

5月2日、能登半島の主要道路である国道249号線の一部区間で、仮設道路が完成したと報道された。輪島市街から名舟町に入る道である。これによって、迂回路で1時間かかっていた道のりが大幅に短縮された。緊急車両と地元住民のみという車両限定の通行であるが、復旧が加速される。

さて、3月上旬より、能登半島の先端である珠洲市の状況把握のため、浅野太鼓楽器店 浅野正規専務ご協力のもと顧客名簿を参考に調査を行っている。家屋倒壊が多く、住民の多くは市街に避難されているため、固定電話が繋がらない。未だに殆どの家屋で水道が使えず、避難所から避難所へと住民同士がばらばらになり、お互いの所在すら分からない状況である。よって、現地でお会いできた太鼓団体の方に情報を広めていただき、今後、少しずつ調査を行っていく。

\*

\*

\*

2024年4月27日(土)

須須守護神太鼓保存会(珠洲市三崎町寺家)

前回訪れた時、悪天候のため運搬出来なかった太鼓を引き取りに行く。帰り際に、同保存会の泉秀達さんのご厚意で、日本最大級といわれる塩津上野のキリコを見せていただく。高さ16.5mのキリコを立てたまま保管できる倉庫とあって、搬入口のシャッターも規格外の大きさである。その横にある入り口は、地震の影響で少し歪んでいたが中に入ることができた。破損部分はあるが、各所がロープで固定されていた大型キリコは、奇跡的に倒れず堂々たる姿を見せてくれた。あまりの高さに畳12枚分のあるはずの屋根が小さく見える。輪島塗りや金箔など、石川県の文化が凝縮されたキリコである。また美しい手描きの絵が地区ごとに描かれ、華やかさを纏っている。

「今年の祭りは無理だけど、大型キリコを入り口から出すだけでもしたい、そうやって仲間達と話し合っているところなのですよ」とお話ししてくださった。



一番左奥 日本最大級キリコ

修理対象の太鼓は以下のとおりである。



吊り下げ式太鼓



長胴太鼓



吊り下げ式太鼓は、市外での演奏活動に早急に必要ということで5月21日に納品した。長胴太鼓は6月上旬に納品予定である。



修理後の吊り下げ太鼓

### 弁天夢太鼓(珠洲市蛸島町)

代表者である室谷 美恵子さんと、同氏が経営している蛸島町の喫茶店で待ち合わせをする。ご自宅は大きな被害を受け、喫茶店の配管工事もいつになるか分からない。室谷さんは、珠洲市の夏の祭りの一つである「太鼓と踊りの夕べ」の企画者の一人である。地元だけではなく、輪島市や志賀町の太鼓チームも招き、伝統文化を通じた交流を図ってきた。また、珠洲市立蛸島小学校が授業の一環として行っている、珠洲キリコまつりの伝統太鼓の指導も行い、それを基にした創作和太鼓の演奏活動も行っている。

今回は、急に連絡が取れたこともあり、被災地の練習場や太鼓保管場所を調査できる状況ではなかったため、震災当初から現在までの様子をお聞きし、当財団の太鼓修理の支援のお話をさせて頂いた。

「珠洲は今、人が住める状態じゃありません。いつまで続くかわからないこの状況で、若い方は市外の避難先で働き口を見つけ、転校していく子どもも多いです。でも、若い人が戻ってくるためには、祭りや太鼓が絶対に必要なんです。故郷を思う気持ちがあればきっと戻ってくれると信じています。そのためには、今、太鼓を絶やすわけにはいかないと思っています。そして、今回の地震で横のつながりの大切さに改めて気付かされました。太鼓チームがばらばらにならないように、今後は珠洲の中で連盟のようなものを発足できれば良いのですが」と話された。

室谷さんのふるさとへの深い想いに耳を傾けながら、こういった方々が長い歴史の中で伝統を支えてくださっているのだと思う。文化の継承は人がいて、楽器は演奏する人がいて初めて息をする。後日室谷さんからお電話があり、山王太鼓と珠洲八幡太鼓保存会に連絡を取ることが出来た。

### (珠洲市正院町～宝立町鵜飼)

3月に珠洲市に足を踏み入れてから一ヶ月半ほどが過ぎた。あまり景色が変わっていない。仮設住宅が建ち始めたこと以外は時間が止まっているように感じる。前回立ち寄った鵜飼地区へと車を走らせる。人の姿は殆ど無い。倒壊した家の前で赤いチューリップだけが、春を告げている。



今は車が通れるように瓦礫が左右に寄せられているが、細い脇道などになると手つかずの場所もある。震災当日の動画がSNSやメディアなどで流れているが、地震と津波が襲ったあの日の本当の恐怖は、現地で経験した者しか分からないだろう。町並みを見ていると、復興にどれだけの課題があるのか、月日が経つほど、通常の生活と被災地に流れる時間の差を痛感する。



キリコの保管場所一つである上中ノ釜集会所を通る。前回は悪天候のため、正面からしか見ることができなかったため、今回は建物をぐるりと1周する。ふと上を見上げると、2階にキリコの太鼓が見えた。倒壊しそうな建物で階段も流されてしまっているため、今はどうすることもできない。いつかまた会いに来るから、太鼓に声をかけその場を後にした。



2024年5月21日(火)

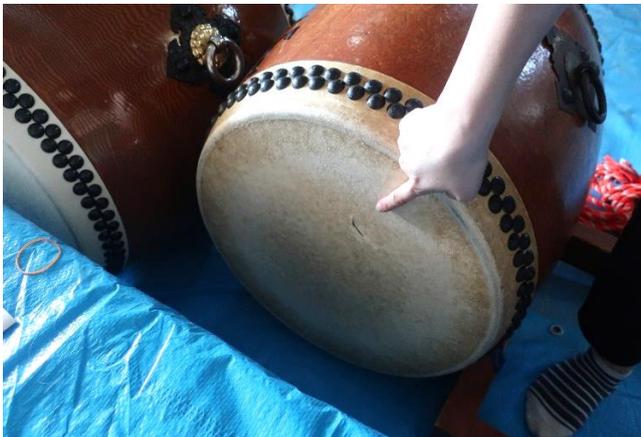
山王太鼓(珠洲市蛸島町)

弁天夢太鼓(珠洲市蛸島町)

山王太鼓代表である田喜知 剛さんと弁天夢太鼓代表である室谷 美恵子さんと、旧蛸島保育所で待ち合わせをする。

山王太鼓は普段、珠洲市蛸島公民館で太鼓の保管や練習を行っている。しかし、年末に演奏があり、一緒に出演していた弁天夢太鼓の保管場所であり、倒壊してしまった室谷さんのご自宅倉庫に太鼓を置いていた。両団体とも今回の太鼓調査のために、倒壊した倉庫から太鼓を運び出し、綺麗に拭いた状態で旧蛸島保育所に集めてくださっていた。

地震による衝撃で革が破れており、一見無事そうに見える他の太鼓も、建物倒壊によって雪や雨などにさらされ続けた結果、革の強度が落ち、劣化している。なんとも言えない鈍い音がするうえに、叩くと簡単に破れそうな状態である。ケースに入っていた太鼓も、湿度変化によって楽器として演奏できない状態になっていた。



支援対象となる太鼓を運び出し、室谷さんに、旧蛸島保育所から珠洲市立蛸島公民館、ご自宅倉庫、弁天太鼓の練習場を順に案内してもらう。

山王太鼓の練習場所である珠洲市立蛸島公民館に到着する。震災前は週一回、この場所で地元の子どもたちが地域の太鼓を練習していた。現在は復興支援のため環境省の宿泊施設となっており、使用できない。



珠洲市蛸島公民館



簡易段ボールベッドが並ぶ

次に、震災当日に両団体の太鼓が保管されていた場所へと向かう。壁が崩れ、屋根が無い場所からは青空が見える。瓦礫や崩れた土壁が積み重なり、湿った土の匂いが立ちこめる。この場所に4ヶ月ほど太鼓があったということだ。



倉庫隣にある室谷さんのご自宅も大きな被害を受けていた。震災当日はご家族全員が珠洲に帰省され、車を駐車場へと移動しようとした時に大きな揺れに襲われたという。向かいの家が一瞬にして倒壊し、爆風で体が飛ばされたそうだ。



一瞬で倒壊した家

最後に弁天夢太鼓の練習場である蛸島漁業活性化推進センターへと向かう。すぐ側にある蛸島漁港は、至る所がひび割れ陥没している。冬は除雪をしないと入れないほど雪が積もるので、その季節は前出の蛸島公民館で練習行っているそうだ。建物壁はブルーシートで覆われ、ガラス越しから見た室内は散乱していた。



帰り際に「生活のために太鼓を諦めるしかないと思っていました。皆さん同じ気持ちでした。途方に暮れていたところに、太鼓のご支援があると伺い、背中を押してもらった気持ちです。太鼓は私たちの希望ですから、前へ一歩進めた気がします。」と室谷さんが話して下さり、車が見えなくなるまでずっと見送ってくださった。

#### 珠洲八幡太鼓保存会(珠洲市正院町)

珠洲市正院町は2023年5月5日、震度6強の揺れに見舞われ、300棟以上が全半壊する被害が出た。今回、その補強や修理が済んでいない状態で、再び大きな揺れに見舞われ、多くの家屋が倒壊した。未だにマンホールが地面から飛び出たままになっている場所も多く、道を選ばないと車が通れない場所もある。同保存会の瓶子 明人さんと太鼓保管場所である須受八幡宮で待ち合わせをした。

同神社は前回の地震で被害をうけた手水舎の修復が決まっていた矢先に、今回の地震が起きた。木で作られた鳥居以外は本殿も含め全て倒壊している。太鼓の保管場所であった能舞台の小屋は潰れ、震災から2ヶ月ほど近く、太鼓が野晒しになっていたという。保存会の方々に敷地内の別の場所に運び出したが、その場所も屋根瓦が落ちている状態であった。太鼓を拝見させていただくと、胴は至る所がひび割れ、革は今にも破れそうなほど痛んでいた。



須受八幡宮



社殿



太鼓保管場所(能舞台)



臨時の保管場所



### 珠洲八幡太鼓保存会(珠洲市立正院小学校)

珠洲八幡太鼓保存会は、五穀豊穡を祈願するため、江戸時代後期から地域に伝えられてきた伝統の太鼓である。10年以上前から同保存会の方々が、地元の珠洲市立正院小学校で指導を行い継承に努めている。小学校4年生以上の児童が、月2回ほど太鼓や笛の練習をしている。

この小学校は、校舎の一部を避難所にしたまま、1月15日には学校を再開した。児童数は13名で、地域の方々との交流は深く、震災当初は子どもたちが定期的の手描きの壁新聞をつくり、避難所の人たちを勇気づけた。また、合唱を披露したり、3月には伝統の奉納太鼓を打ち鳴らした。

同小学校の山野仁志校長先生のご厚意で、指導者でもある瓶子さんのご案内のもと、太鼓が置いてある体育館倉庫を見せていただいた。体育館裏は大規模な土砂崩れが起きていた。



現在、体育館は応急修理され使用できる状態にある。太鼓は無事であったが、校内の至る所に震災の爪痕が残っていた。グラウンドには、40 戸の仮設住宅が建ち並び、住民の方々が生活を始めている。校舎の外に出た私の姿を見て、子どもたちが次々に「こんにちは！」と挨拶してくれる。正面玄関には鯉のぼりが泳ぎ、明るく元気な声に心が救われた。



\*

\*

\*

2024年6月3日早朝に、緊急地震速報のアラームが鳴り響いた。揺れが来た途端、玄関外に出たと思われる近所の高齢者の悲鳴が聞こえる。元旦の地震を思い出し、恐怖に襲われた。すでに大きな被害を受けている被災地の方々や今まで見てきた崩れそうな家屋が脳裏に浮かんだ。

現在、被災地では倒壊家屋の公費解体がなかなか進まない状況にある。太鼓仲間たちにおいては、練習場の倒壊、野外広場や学校のグラウンドの仮設住宅建設により、騒音問題があるため練習ができない問題も抱えている。また、生活再建が見えない場所も多くあり、太鼓修理の支援に関しては、被災地の方々の状況や心に寄り添いながら長期的に進めていく必要があると考えている。

(公財)日本太鼓財団 交通費代支援 計算表(5月分)

団体名	金額
御神事太鼓保存会	4,637
合計	4,637

5月21日に納品された須須守護神太鼓保存会の太鼓支援の支出は、もう一台の長胴太鼓が納品されてから金額として反映いたします。

(2024年6月6日)

\* \* \*

引き続き多くの方々からご寄付を頂いており、寄付金の累計額は5月13日現在で、12,801,482円となりました。

心より御礼申し上げます。

お預かりした寄付金は大切に使ってまいります。

なお、支援報告書8で報告したうち、3月28日支出分の御陣乗太鼓保存会へのお支払いは、支援金ではありませんでした。訂正いたします。

収支計算書(5/13 現在) (単位:円)

収入		金額	属性	備考
1/5	全九州太鼓連合	1,000,000	地区	
1/6	関八州太鼓連合	100,000	地区	
1/9	東北太鼓連合	300,000	地区	
1/18	浅野太鼓楽器店	1,000,000	賛助	
1/27	河合 光夫	10,000	その他	シニアコンクール出場者
1/29	福井県太鼓連盟	30,000	支部	
1/29	松本 弘昭	35,000	その他	シニアコンクール出場者
2/1	東京都支部	100,000	会員	
2/2	櫛引 秀明	50,000	その他	シニアコンクール出場者
2/2	浅野 義幸	100,000	その他	浅野太鼓楽器店 17 代当主
2/6	岡山県支部	110,000	支部	
2/7	宮城県太鼓連絡協議会	150,000	支部	
2/8	北海道道東支部	30,000	支部	
2/9	茨城県支部	95,000	支部	
2/13	千葉県支部	100,000	支部	
2/13	岐阜県太鼓連盟	100,000	支部	
2/13	岐阜県太鼓連盟獅子の会	50,000	その他	国文祭ゲスト団体
2/13	全九州太鼓連合	2,805,701	地区	

2/14	神奈川県支部	50,000	支部	
2/16	佐々城 清	1,000,000	本部	常務理事
2/16	高野 右吉	10,000	その他	副会長
2/16	宮城県太鼓連絡協議会	20,000	支部	
2/16	滋賀県支部	50,000	支部	
2/18	兵庫県支部	200,000	支部	
2/26	日本太鼓財団事務局	143,000	本部	
2/29	静岡県支部	100,000	支部	
3/1	奈良県支部	162,000	支部	
3/4	台湾太鼓協会	500,000	その他	
3/7	北海道道北支部	132,628	支部	
3/11	宮本卯之助商店	1,000,000	賛助	
3/14	栃木県支部	106,984	支部	
3/15	群馬県支部	98,000	支部	
3/18	和歌山県支部	130,000	支部	
3/18	北海道道央支部	25,000	支部	
3/19	長野県支部	540,537	支部	
3/21	西岡 知則	30,000	その他	シニアコンクール出場者
3/21	愛知県支部	257,632	支部	
3/26	NPO 法人てほへ	150,000	その他	志多らグループ会社
3/27	(有)志多ら	350,000	その他	
3/27	ブラジル太鼓協会	440,000	その他	
3/28	西川恵美子	50,000	その他	技術委員
3/28	北海道道南支部	150,000	支部	
3/29	NPO 東京都太鼓連合	100,000	その他	
3/29	日本太鼓財団東京都支部	500,000	支部	
3/29	日本太鼓財団三重県支部	10,000	支部	
3/29	日本太鼓財団島根県支部	100,000	支部	
4/19	鶴岡太鼓フェスティバル	50,000	その他	
4/25	岐阜県太鼓連盟	28,000	支部	
4/30	逢鷲太鼓連 久野壯	50,000	支部	
4/30	逢鷲太鼓連	92,000	支部	
5/13	広尾陣屋太鼓保存会	10,000	支部	
計		12,801,482		

支出		金額		備考欄
1/11	輪島支援物資	121,741		
1/19	穴水/能登町/志賀町	130,080		
1/27	志賀町/輪島	18,415		
2/8	名舟町	54,780		
2/11	輪島	28,534		
1~2月	各チーム交通費	67,714		
4/1	バチ	20,185		
4/3	横断幕	38,500		
3月	各チーム交通費	105,152		
4月	各チーム交通費	14,973		

5月	各チーム交通費	4,637		
	計	604,711		

収支差額		12,196,711		
------	--	------------	--	--